

中学校の状況について ～特に規模による状況の違い～

☆例としてとりあげた中学校の規模と教員数

【学校規模と教員数】

(平成17年5月1日現在)

		A 中	B 中	C 中	D 中	E 中	F 中	G 中	H 中
生徒数(人)		250～300		400～500		550～600		800～900	
学校規模(学級)		6～9		12～13		15～18		21～24	
教員数 (人)	普通学級	16	14	21	21	27	27	38	41
	特殊学級	—	4	4	—	4	3	—	—

※教員数には校長・教頭は含まれない

※生徒数(人)、学校規模(学級)には特殊学級の数は含まれない

資料 中学校の県費負担教職員定数の配置基準(普通学級)

学級数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
配置数	3	6	9	9	10	11	13	15	16	18	20	21
学級数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
配置数	22	23	25	26	28	30	31	33	35	36	38	39

※上記の表の配置数は、校長と教員合計の人数を示しており、養護教員、事務職員、栄養職員などの職員については、含まれていない。

【教科別の教員数】

(人)

	A 中	B 中	C 中	D 中	E 中	F 中	G 中	H 中
国 語	2	2	3	3	4	4	6	5
社 会	2	1	3	3	3	4	5	5
数 学	2	2	3	3	5	4	6	5
理 科	2	2	2	3	3	3	5	5
音 楽	1	1	2	1	2	2	2	3
美 術	1	1	1	1	1	1	2	2
保 体	3	2	2	2	3	3	4	4
技 術	1	1	1	1	1	1	2	3
家 庭	—	—	1	1	1	1	1	2
英 語	2	2	3	3	4	4	5	7

※教科別の教員は、各学校が自校の状況に応じて配置を希望することができる。

中学校での教育活動の概要

【学習指導要領で定められた年間の標準授業時数】

区 分	必修教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の時数	選択教科等に充てる授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語					
第1学年	140 (4)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	45 (1.2)	45 (1.2)	90 (2.5)	70 (2)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	0～30 (0～0.8)	70～100 (2～2.8)	980 (28)
第2学年	105 (3)	105 (3)	105 (3)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	90 (2.5)	70 (2)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	50～85 (1.4～2.4)	70～105 (2～3)	980 (28)
第3学年	105 (3)	85 (2.4)	105 (3)	80 (2.2)	35 (1)	35 (1)	90 (2.5)	35 (1)	105 (3)	35 (1)	35 (1)	105～165 (3～4.7)	70～130 (2～3.7)	980 (28)

年間を35週として予定している。

() 内の数値は週あたりの時間数を示している。

年間45時間実施する場合には、 $45 \div 35 = 1.29$ となるので、週1時間をベースに授業を行い、時期によっては週2時間行うことになる。

例としてとりあげた中学校での部活動の状況

【部活動の開設数と指導者数】

		A 中	B 中	C 中	D 中	E 中	F 中	G 中	H 中
開設している部活		8	9	9	11	11	11	13	17
	文化系	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)
	体育系	(7)	(8)	(7)	(9)	(9)	(9)	(11)	(14)
陸 上	男子								
	女子								
バスケット ボ ー ル	男子								
	女子								
バレーボール	男子								
	女子								
バドミントン	男子								
	女子								
卓球	男子								
	女子								
野球									
サッカー									
ソフトテニス	男子								
	女子								
ハンドボール									
剣道									
柔道									
硬式テニス									
合唱									
演劇									
美術									
吹奏楽									
コンピュータ									
指導者数(人)		12	13	13	11	15	16	27	28